

ベルマーク新聞 12月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <http://www.bellmark.or.jp/>

額装された校歌、書いたのは生徒

 三重・御浜町立尾呂志学園中



御浜町立尾呂志学園小学校・中学校のみなさん

ベルマーク財団が今年度支援したへき地学校のひとつ、三重県御浜町の町立尾呂志学園中学校(竹本和弘校長、生徒10人)が希望した備品は校歌の額2枚。全校集会などで生徒が見ながら校歌斉唱をするものです。これまでは模造紙に印刷したものを貼っていました。今回届いた額に収められたのは、一人の生徒が筆で書き上げた校歌でした。

書いたのは2年生の芝芽衣(しば・めい)さん。11月17日にあった尾呂志文化祭で、竹本校長から感謝状を手渡されました。竹本校長が「通っている中学生が一人で校歌を書き上げたのは、日本で尾呂志学園だけじゃないかなと思っています。本当にありがとう」と労うと、芝さんは、はにかんだような、かわいらしい

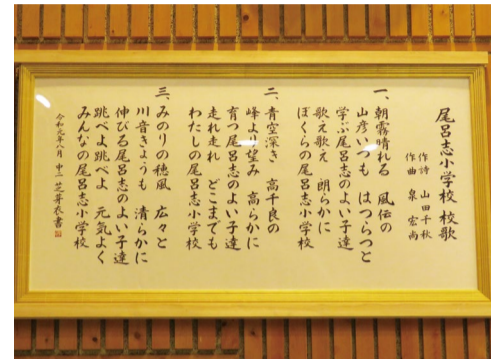
笑顔を見せてくれました。竹本校長はさらに、ボランティアで額の設置をしてくれた地域の方にも感謝の意を伝え、額はベルマーク財団の支援で購入したことも紹介されました。

現在、「六段」の段位を保持している芝さん。お母さんの陽子さんによると、芽衣さんは「書道がとにかく大好き」。以前はピアノも習っていましたが、「私は書道がしたい」という本人の強い意志により、現在は書道に専念しているそうです。

そんな芝さんでも「校歌を書いてみないか」と声をかけられたときは、「ちゃんと書けるかな」と、とまどってしまったそうです。小学校は併設校のため、中学校の校歌とは別で、2つの作品を仕上げる必要がありました。夏休みに毎日250

~300枚の半紙を使い、練習を重ねました。漢字の方が書きやすいそうで、歌詞を書く上では「同じ種類のひらがなを何回も書かなければならなかったこと」に苦労したそうです。清書をする際はお父さんも協力。大きな紙を載せるテーブルを、角材を使って手作りしてくれました。

尾呂志文化祭は、児童・生徒が日頃の学習成果を発表する場です。東京への修学旅行をスライドにまとめた発表では、「田舎者には都会の建物がどれも一緒に見えた」「原宿の竹下通りを何度も往復して有名人を探したが、見つからなかった」といったコメントが笑いを誘っていました。昼食のカレーライスとして来場者にも振る舞われたお米は、生徒たちが収穫した地区特産の「尾呂志米」でした。



①芝さんが書き上げた尾呂志学園小学校の校歌
②左から、お母さんの芝陽子さんと芽衣さん
③自分たちで作った「尾呂志米」のカレーライスはおいしいね

芽衣さん、練習お疲れ様でした!!



レモネードの次は「さつまいも甘酒」

 関西学院大の学生、売上から寄付

昨秋「瀬戸内レモネード大作戦」を展開した関西学院大学の学生たちが、今秋は「うまいもん甘酒」プロジェクトを実施、売上金から1万2843円を、台風・大雨被災地への支援としてベルマーク財団に寄付しました。

熊本地震の際に現地ボランティアに参加した学生を中心に、有志が大学の生協祭に出店。熊本県のサツマイモ「完熟紅はるか」と、西宮市の蔵元「白鷹」の米麴を使ったさつまいも甘酒を作り、一杯150円で計382杯を完売しました。経費を差し引いた分を台風・大雨被災地支援への寄付金として送金してくれました。

学生たちは昨年西日本豪雨被災地支援のため、自作のレモネードを生協祭で販売する「レモネード大作戦」を展開。今年2月にも同大にある地域の子育て支援セ

ンター「さぼさぼ」で第2弾の大作戦を実施し、それぞれ売上金を財団に寄付しました。

理工学部3年の竹本みぞれさんは「今回もたくさんの人に関わってもらい、いい形で終わることができた。この新たな繋がりがこれからもずっと続いてくれたら」、大学院人間福祉研究科修士課程1年の森美月さんは「気軽に楽しくみんなで応援! 離れていても食で繋がることを実感できて嬉しかった」、社会学部4年の菅夏海さんは「熊本地震のボランティアで感じた現地とのつながりを、『KG(関西学院大)×熊本つながりメニュー』として、普段災害にあまり関心がない学生にも伝えられたのかなと思う。熊本が大好きな仲間との新たなつながりができたのがよかった」とコメントしてくれました。



念願の「木琴」、6年かけて買いました

神奈川県立吉田島高校吹奏楽部



木琴を前にした吹奏楽部員。後列右端は顧問の綿貫彩音先生

神奈川県開成町にある県立吉田島高校(中戸川啓二校長、生徒352人)は今年5月、初めてベルマーク預金を使ったお買いものをしました。それは「木琴」。楽器が不足している吹奏楽部が6年前から楽器購入を目的に始めたベルマークの収集活動が実を結びました。

吉田島高校は生徒の6割以上が女子だそう。吹奏楽部の部員7人も全員女子です。ふだんは週3回、音楽室で全体練習をしているほか、町内の社会福祉施設で土日に演奏したり、地域の中・高と合同

バンドを組んで活動したりしています。

昔からの悩みは、持っている楽器が少ないこと。他校から借りたり個人で買ったりして補っているそうです。そこで「楽器が買えるくらいマークを集めよう」と、2013年5月に学校としてベルマーク運動に参加しました。校内や町役場に回収箱を置くほか、演奏会でも協力を呼びかけています。マークの仕分け・集計は部活の際に部員たちと顧問でします。今の顧問の綿貫彩音先生が新卒で着任した2016年4月には、すでに7万点を

超すマークが集まっていたそうで、さらに収集を続け、昨年には10万点を突破。そこに今年度の部費を加えて、立派な木琴を購入することができました。

打楽器パートを受け持つ部長の橋本詩織さん(2年)は「新品はめちゃくちゃ音がいい。自分たちでたくさん叩けるから、ワクワクしました」と嬉しそう。もう一人の打楽器担当、大島花華さん(同)は「木琴は曲で使うことが多く、これまで違う楽器で代用していました。届いてよかったです」と話します。



㊤事務室窓口にある回収箱
㊦みんなでマークの仕分け

ひとつ念願をかなえた吹奏楽部ですが、楽器をもっと多く揃えるため、ベルマークの収集は今後も続けるといいます。欲しい楽器は、マリンバ、ホルン、チューバ……。綿貫先生は「音のバランスをよくするために低音楽器を増やしたい」と言います。

同校の細野徳昭教頭は「マーク1枚1枚は小さな点数ですが、6年かけて木琴という形になりました。大切に代々使っていければありがたいです」と話しました。

本の魅力、小学生が「帯」で伝える

大阪で創作コンクール表彰式

本の魅力を短い言葉やイラストで表現する「本の帯」。児童書に巻くこの「帯」を小学生がデザインする大阪こども「本の帯創作コンクール」(大阪読書推進会、朝日新聞大阪本社主催)の今年度の入賞者が決まり、11月16日にエル・おおさか(大阪府立労働センター)で表彰式がありました。15回目となる今回は、15都府県とインドの日本人学校の計300校から1万2625点の応募があり、109点が様々な賞に選ばれました。

昨年から設けられたベルマーク賞。今年度は大阪府寝屋川市立北小学校3年の今岡悠登(いまおか・ゆうと)さんが受賞しました。中学年の課題図書だった絵本「きのうをみつきたい!」(アリソン・ジェイ、徳間書店刊)

を取り上げた作品です。表紙側には「さあ きょうのぼうけんにしゅっぱつ!」と興味をひく言葉がつづられ、かわいいイラストも。裏面には、絵本の内容を魅力的に伝えるキャッチコピーが並びます。

今岡さんは1週間に5~6冊の本を読むという本好き。昨年も応募し、佳作を受賞しました。「本がどんな内容で、どういうふうにも読んでもらいたいか、わかりやすく伝える言葉を選ぶように気をつけました」

今岡さんには表彰式で、ベルマーク財団の高木文哉常務理事から賞状と副賞の図書カードが贈られました。入賞者一覧と主な入賞作は大阪府書店商業組合のHPでご覧になれます。



「チャリティー年賀状」販売開始

支援金がベルマーク預金に加算される「チャリティー年賀状」の販売が11月20日から始まりました。1枚あたり10円がウェブベルマーク協会に寄付される仕組みで、全国のベルマーク参加校から被災校や自分の学校など、支援先を選ぶことができます。

販売されるのは、中高生も含めて実施された「全国学生デザインコンテスト2020」の入選作品104点と、宮城県気仙沼市の子どもたちが作った26作品で、1枚

143円(税込)。インターネットで年賀状の作成・印刷・配送ができる「スマホで年賀状」「ネットで年賀状」サイト(アプリ)で買えます。手続きをすると送られてくるメールの指示に従えば、支援する学校を選ぶことができます。来年1月15日まで販売します。

博報堂アイ・スタジオが2011年から始めた取り組みで、これまでの支援金は累計736万4500円になるそうです。



岡山聾学校 コツコツ18年、50万点達成

西日本豪雨では(株)デンソーからの支援も



① PTA 文化部の皆さん。下段右から2番目が岡本菜摘さん ②まずは会社別に仕分け
③新しい綱で綱引き ④体育祭の応援に駆け付けた(株)デンソーの社員
⑤幼稚部祭りでは、保護者が一生懸命作ったアトラクションで盛り上がりました

岡山市にある県立岡山聾学校(岡本由美校長・生徒59人)が8月に累計50万点を達成しました。仕分け・集計の担当は、PTA文化部(幼稚部の保護者)の「チャレンジベルの会」です。

PTA文化部は現在10人。「チャレンジベルの会」という名前は、1991年の参加登録時の保護者が「頑張って活動しよう」という気持ちを込めて名付けたのではないかと幼稚部教頭の岡田千登勢先生が教えてくれました。

部長の岡本菜摘さんは、「部長といってもひとりで仕切る仕事ではなく、みんなに協力してもらって、楽しくやっ

ます」と言います。「私たちの活動が子どもたちに還元され、楽しそうに遊んでいる姿を見るのが嬉しい」と岡本さん。

部員からは「私の出身校は小中高とベルマークを集めていなかった。もっと早く知っていたら小さい頃から集めていたと思う。集めていないのがもったいなかった」という声や、自らも同校の卒業生だという方からは「私の在学時にはすでに集めていた。お母さんがマークを切っている姿を見て『これはなあに?』と聞いたらベルマークだった。『切ったらお金に変わるんだよ』とも教えてもらった」というエピソードもありました。

昨年7月の西日本豪雨では、幼稚部と聴力測定室が床上浸水の被害を受け、聾学校に欠かせない防音設備のある聴力測定室は、改修を余儀なくされました。

子どもたちが楽しみにしている、運動会の綱引き用の綱も水に浸かりました。そこで救いの手を差し伸べたのが大手自動車部品メーカー、(株)デンソー(本社・愛知県刈谷市)の社内ボランティアグループ「昼ボラ隊」。生徒の就労に関して連携をとっている経緯があり、社員が電話で状況を聞いた際に、被害を知りました。

「昼ボラ隊」は東日本大震災をきっかけに「昼休みにボランティアをしたい」

有志が集まって結成。これまで14校に計230万点のマークを寄贈してきました。この昼ボラ隊が約16万点のマークを緊急に寄贈、同校はそれを使って新しい綱を買うことができました。

同校は昨年度の特別支援学校援助対象校。ベルマーク財団から短焦点プロジェクターを贈りました。こうした経緯もあり、事前のアンケートには「今後も教育設備充実にお力を貸していただければ幸いです」とありました。岡本校長は「PTAの皆さんの地道な積み重ねや、企業さんなどにお世話になっての50万点達成です。ありがとうございました」と話しました。

「ハーバリウム」を作り、「美里絵」を鑑賞

新潟・栃尾の東谷小学校で理科実験教室

名水や日本酒、特大のあぶら揚げで有名な新潟県長岡市の栃尾地域。ここにある市立東谷小学校(笹川勝校長、児童61人)で11月7日、ベルマーク財団の理科実験教室がひらかれました。財団のへき地校支援プログラムのひとつです。今回の講師は、理科教育のベテランで宮崎県都城市在住の村上規代先生と、学校の近くに住む地元の芸術家・多田清虹先生です。

多田先生は、枯葉や樹皮など自然の素材を使った張り絵「美里絵(みさとえ)」の創始者。持ち込んだ数十点の作品について説明してくれました。クモの糸やネギの皮など、意外な素材もあり、子どもも先生も驚きです。近くにこんな方がいたとは知らなかったようで、みな興味深げに作品をのぞき込んでいました。

続いて村上先生の指導で「ハーバリウム」を作ります。ドライフラワーを特別なオイルにつけたもので、持ち帰って家でも植物を観察してもらおう狙いです。試験管にオイルを注ぐと、ドライフラワーから何か出てきます。「何でしょう?」と先生。「泡!」「気泡!」と子どもたち。泡が抜けたらオイルが減るので足します。

村上先生は太陽から地球に届く紫外線の話もします。人体には有害ですが目には見えません。でも先生が「忍者えのぐ」と呼ぶインキを練り込んだマントは、最初は無色なのに戸外ではピンク色に変わりました。見えない紫外線に反応したのです。先生からは、同じ仕組みで色が変わる「忍者バルーンスライム」の材料が子どもたちにプレゼントされました。



「開いて、洗って、乾かして」動画で説明

日本テトラパック「運動のしくみ」、財団HPからも視聴可能

協賛会社の日本テトラパック(ベルマーク番号17)がHPで動画「日本テトラパックのベルマーク運動のしくみ」を公開しています。ベルマーク財団HPのトップページからも見に行けます。

同社のベルマーク運動は、テトラパッ

クマークのついた紙容器を「開いて、洗って、乾かして」送る方法です。まだテトラパックの紙容器を集めたことがない方も、すでに集めている方も、ぜひご覧ください。

日本テトラパックのHPには、ほかに

も役に立つコンテンツがいっぱい。紙容器専用回収箱の請求シートや、チラシ、リーフレットをpdf形式で公開しているほか、集められた紙容器のその後や、困ったときのQ&Aなども掲載しています。参考にしてみてください。

日本テトラパックの
ベルマーク運動のしくみ



ただの積み木じゃない!「KAPLA®ブロック」

どんな形でも作れる仏生まれのおもちゃ、ミズが販売中

一輪車を始めとして、様々な学校用品を扱っている協力会社のミズが「KAPLA®ブロック」を取り扱っています。フランス生まれのブロックで、パーツはたった1種類。フランス海岸松から作られた、1:3:15の比率の細長い板です。1987年に発売されて以来、世界中でおもちゃに関する賞を数多く受賞してきました。

KAPLAブロックの遊び方を学ぶ造形ワークショップ「出張アニマシオン」が都内の保育園で行われました。この日の講師は、日本にたった2人の公認インストラクターのひとり、志賀嶺司さん。

2歳から5歳の28人を前に、バラバラと豪快に箱からブロックを撒く志賀さん。子どもたちはもう大騒ぎ!

志賀さんはKAPLAブロックの特徴を、子どもたちにも分かるように説明します。「木で出来ている四角い形」「のっけるとピタッとくっつく。磁石じゃないのに不思議でしょ」「縦に置いても、横に置いてもいい。ふたつを混ぜてもいいよ」。そんな話をしながらも手を動かし、いつの間にか、目の前にタワーが出来ました。

積み方のコツを掴んだところで、いよいよ子どもたちが自由に遊ぶ時間です。崩れてもくじけずに積み上げる

子、崩れないよう慎重に作業する子、友だちと協力して積み重ねる子、一人黙々とブロックに向き合う子……。中には抱っこしてもらって、自分の身長2倍のタワーを作り上げる子もいました。

あまり聞き慣れない「アニマシオン」という言葉。「アニマ」の語源は、「命を吹き込む」ことだそうです。志賀さんは「ただ積むのではなく、1枚のブロックからモノを作り上げることで、『表現すること』に重きを置いているのがアニマシオンです」と教えてくれました。

後日、日本でのKAPLAブロック普及における第一人者で、公認インストラクターの富安智子さんが財団事務所に来てくれました。遊ぶときのコツは「目で見て積むのではなく、バランスを指先で感じること」。

KAPLAブロックは、園児から高校生まで幅広い年齢に応用できる学習教材としてだけでなく、児童館での知育玩具、企業での社会人向けワークショップ、数学や建築を専門的に学ぶための教材、不登校児のための特別学級に活用している例もあります。豊かな感性の育成や心の安定も期待できます。購入のお問い合わせは、ミズのベルマーク係(0120-829-201・order@mys-co.com)まで。



台風被害の千葉・館山市の給食にミートボール

石井食品が3550食分を提供

今秋の台風で被災した千葉県館山市の学校に、協賛会社の石井食品(ベルマーク番号93)が、主力商品「イシイのおべんとクン ミートボール」3550食分を給食用として提供しました。

館山市の教育委員会によると、市の給食センターは9月の台風15号で屋根に穴があき、調理場が使えなくなりました。続く19号台風で穴が拡大、センターの給食を利用している市内20の幼稚園・小中学校は、簡易的な給食か、弁当持参という状況が続いています。

ミートボールは調理済みのため、そのままでも食べられます。センターを通じて11月14・15・18の3日間で20校全てに届けられました。初日の14日に提供を受けた市立那古小学校(鈴木智夫校長、児童228人)では、子どもたちに一袋ずつミートボールを配布。みんな

な弁当箱に盛り付けるなどして食べました。子どもたちからは「お母さんに楽させたいから早く給食が復活すればいいなあ」といった声があったといいます。同校の吉野薫教頭は「子どもの3分の1は簡易給食、他は各家庭から弁当を持参しています。弁当が続いて飽きているところへミートボールを提供していただき、子どもたちはおいしいと喜んでいました」と話してくれました。

石井食品は千葉県が創業の地。ほかに市原市や南房総市にも、野菜入りのおかゆや食物アレルギーに配慮した非常食など約1万食を提供しました。同社顧客サービス部ビジネスサポートの高橋俊一さんは「ミートボールとともに、子どもたちへ笑顔を届けられたことが本当に良かったです」と話します。同社は今後も継続して被災地支援を行っていくそうです。



活動開始から4年半 兵庫・三木市

担当部署の市民協働課を訪ねて

市をあげてベルマーク収集に取り組んでいる兵庫県の三木市。2015年に当時の三木市長とベルマーク財団常務理事が記者発表し、同年7月1日から取り組みを始めました。それから4年以上経ちましたが、順調に活動を続けてくださっているようです。近況を伺いに訪問しました。



神戸電鉄の三木上の丸駅は、レトロな雰囲気が漂う木造の駅舎です。そこから20分弱歩いて、市役所に着きました。

ベルマーク運動の窓口は、市民生活部



市民協働課です。同課は、ボランティア、国際交流活動、みっきい夏祭りの運営、市民の生涯活躍の推進、区長協議会に関する業務、旧宅地の再開発など、市民活動に関するあらゆる業務を担当しています。

ベルマークを担当しているのは常深慶子(つねみ・けいこ)さん。市民協働課の職務分担の一つとして、他の仕事と並行しながら業務を進めています。

市内10カ所にある市立公民館のほとんどと市役所の総合案内前に回収箱を置き、市民に協力を呼びかけています。市

役所内では職員が利用しやすいよう、8カ所の湯沸かし室にも設置しています。マークは2カ月に1度、市民協働課に集約します。集まったマークは3つに分け、①ベルマーク財団に「震災マーク」として寄贈②公民館の備品購入③市内の小中学校や幼稚園などの教育施設に寄付、という使い方をしています。

常深さんは「ベルマーク一覧表をわざわざ取りに来てくださった60代くらいの女性」や「1社だけで2000枚ぐらいのマークをくださった、ボランティアの



方」に会ったことがあるといいます。一方、同課係長の黒田正孝さんによると課題があるそうで、「ベルマークそのものの認知度は高くても、市民協働課がベルマークを集めていることは、まだまだ知られていないのでは」と言います。

とはいえ、2018年度に集まったマークは55,813.2点で、前年度の44,950点から1万点以上も上積みしました。「これからも右肩上がりにマークが増えていったら嬉しい」と常深さんは前向きに話してくれました。

「3分クッキング」にロングライフデザイン賞

キューピーの長寿番組、テレビコンテンツの受賞は初

協賛会社キューピー（ベルマーク番号 07）の1社提供番組「キューピー3分クッキング」が、2019年度グッドデザイン・ロングライフデザイン賞を受賞しました。

誰もが知るテーマ曲と「キューピーとヤサイな仲間たち」が踊るオープニングで始まり、「簡単、便利、毎日の献立作り」に役立つレシピを紹介し、放送開始は1962年12月。今の放送枠は10分ですが、「たとえ天気予報のように1回の放送は短くても、毎日の献立のヒントを提供したい」との思いから、初めは正味3分の番組だったそうで、それが番組名の由来となりました。

審査で重視されるのは4つの視点。既存の概念に捉われずに新しい価値を見出す「革新性」、多くのユーザー

からの「信頼性」、広くスタンダードと認められる「普遍性」、次なる世代のモデルを目指す「先導性」です。ロングライフデザイン賞はさらに、幅広いユーザーから信頼され、10年以上継続的に提供された商品・サービスであるうえ、今後も継続した提供が見込まなければなりません。審査委員によると、「限られた時間の中で季節感のあるレシピを紹介し、毎日に豊かさを提供し続けている」ことが評価のポイントだったそうです。

日本テレビ系列では、毎週月～土曜日の11時45分～11時55分に放送。CBCテレビ系列では、毎週月～金曜日の11時20分～11時30分、土曜日は11時30分～11時40分に放送されています。



たくさんの寄贈をいただきました

ジブラルタ生命保険

協賛会社のジブラルタ生命保険（ベルマーク番号 15）が11月29日、ベルマーク財団を訪れ、全社をあげて集めたマーク99万点を寄贈しました。

ベルマーク大使で執行役員の松本哲さん、コーポレート・クオリティ推進チームの山本直子チームリーダー、同スタッフの小野寺正行さんが、段ボール3箱に収められたマークを持参してくれました。すべて協賛会社・点数別に仕分け済みで、それぞれ整理袋を貼り付けた封筒に入っていました。

ジブラルタ生命は、東日本大震災の発生直後から被災校のためにマーク収集に取り組み、毎年のように財団に寄贈してくれています。その一方で、財団に寄せられた寄贈マークの仕分け・集計ボランティア活動にも取り組んできました。そのほか、愛知県豊橋市で開かれた「豊橋まつり」などのベルマークイベントにも積極的に参加してくれています。

自らも豊橋まつりに参加した松本大使は「財団にマークを寄贈すれば子どもたちのためになることは、よく知られています。寄贈マークが今後も増えていくといいですね」と話しました。



持参した段ボール3箱のベルマークを前に、左からベルマーク大使の松本哲さん、山本直子さん、小野寺正行さん

ウエルシアとキリンビバレッジ

ドラッグストアを全国展開しているウエルシアホールディングス（本社・東京）と協賛会社のキリンビバレッジ（ベルマーク番号 54）が組んで今夏に実施した「ベルマークで応援！西日本復興キャンペーン」で、10万3354点のベルマークが集まり、11月11日、ベルマーク財団に寄贈されました。

キャンペーンは、生茶やキリンレモンなどキリンビバレッジ製品のベルマークを4枚以上、ウエルシアのグループ店舗に置いた専用はがきに貼って応募すると、抽選で岡山産牛肉や広島産かきなどの賞品が、合計360人に贈られる、というものです。6月17日から8月4日まで実施され、同グループの店舗のうち、7割を超す1,550店がキャンペーンに参加しました。

期間中に寄せられた応募はがきの総数は19,248枚だったそうです。ありがとうございました。財団に寄贈されたベルマークは、昨年の西日本豪雨で被災した学校のために使わせていただきます。

期間中に寄せられた応募はがきの総数は19,248枚だったそうです。ありがとうございました。財団に寄贈されたベルマークは、昨年の西日本豪雨で被災した学校のために使わせていただきます。



集まったベルマークを前に、中央がウエルシア薬局取締役商品本部長の桐澤英明さん、右はキリンビバレッジ広域流通営業部営業担当部長の星知宏さん、左の同営業部・松園明子さんが手にしているのはウエルシアの公式SNSキャラクター「うえたん」

「支援ありがとう」メッセージ届く

和歌山・高野町立花坂小

今年度のへき地学校支援対象校のひとつ、和歌山県高野町立花坂小学校（田中秀和校長・児童5人）から、児童が書いてくれたお礼の手紙と、ベルマーク財団から花坂小に贈った黒板用マグネット、ティーボールセット、百人一首、朝日ジュニア学習年鑑などを使っている写真が届きました。

花坂小へは、新大阪駅からだと最短で約2時間半。南海高野線やJR和歌山線などの電車で笠田(かせだ)駅まで行き、そこからコミュニティバスまたは車を利用します。電車の本数はかなり少なく、乗り継ぎが上手いかなと4時間ほどかかることもあるそうです。道路事情の良くないところから通う児童は、スクールバスを使う必要があります。

田中校長によると、「上級生が下級生の世話をするなど縦の繋がりがあがる」ことがアピールポイント。児童数5人に対し、職員数6名の同校では、「子どもたち一人一人を大切に



にして、少人数ならではのきめ細やかな学習指導をしている」ことも自慢だそうです。きっと今回の備品も、学年を超えて仲良く使ってくれることでしょう。

京都・綾部市立上林小

ベルマーク財団の今年度へき地学校支援対象校のひとつ、京都府綾部市立上林小学校（小林昌宏校長・児童31人）から、感謝のメッセージと子どもたちの様子を伝える写真が送られてきました。

京都府北西の綾部市。その中心部から東へ山中を進むと上林小があります。2005年に奥上林小と中上林小が統合して上林小となり、新しい校歌を作りましたが、その作曲者は、フォークの神様、岡林信康さん。1970年代に上林の山村で数年間暮らしたことがあり、その縁で作曲を頼むことになったそうです。2015年から市立上林中学校の敷地内に移り、小中一貫教育を実施しています。

今年度の支援で購入したのはデジタルビデオカメラ、デジタルカメラ、紙を挟むクリップや持ち手の付いた「たんけん・かんさつボード」で、写真では全校児童が市内の森にトチの実を拾いに行った時の様子などが写っていました。小林校長によれば、教材は、学校行事や授業での記録用にこれからも活用していくそうです。



大台達成校

11月		
大沼小	茨城県日立市	6,010,578
千代田東小	静岡県葵区	6,004,433
緑小	埼玉県春日部市	5,023,898
岡富小	宮城県延岡市	5,008,932
大口台小	横浜市神奈川区	4,004,514
梶ヶ谷小	川崎市高津区	4,017,735
泉野小	金沢市	4,044,841
田川小	長野県松本市	4,006,434
金岡南小	堺市北区	4,011,576
花田小	兵庫県姫路市	4,007,695
勝原小	兵庫県姫路市	4,017,272
小金小	千葉県松戸市	3,016,059
新通小	新潟市西区	3,030,860
片浜小	静岡県沼津市	3,027,397
大野小	兵庫県洲本市	3,013,788
鷹取中	神戸市須磨区	3,014,342
七区小	岡山市南区	3,010,861
雄新中	松山市	3,024,095
柳生小	仙台市太白区	2,001,468
本町小	埼玉県川口市	2,008,505
市場小	千葉県船橋市	2,018,060
熊野小	富山市	2,022,086
塩津小	滋賀県長浜市	2,010,681
洲本第一小	兵庫県洲本市	2,045,140
山口中	兵庫県西宮市	2,012,332
三重第一小	大分県豊後大野市	2,025,581
琴丘小	秋田県三種町	1,009,608
ふたば文化幼稚園		
茨城県下妻市		1,025,775
青木村保育園	長野県青木村	1,004,406
久々野小	岐阜県高山市	1,030,509
鯉江小	大阪市城東区	1,006,592
足原小	北九州市小倉北区	1,021,575
弥生が丘小	佐賀県鳥栖市	1,005,391

読んでみたい本 児童文学評論家・藤田のぼる

絵本

『おそろしいよる』
(きむらゆういち・作、殿内真帆・絵、すずき出版)

真夜中の部屋の中で、一人で本を読んでいたこぶた。突然電気が消えて、部屋の中に誰かがはいてくる。こぶた、危うし!と思ったところで……。という展開が繰り返され、意外などんでん返しが待ち受けます。『あらしのよるに』の作者の、これもスリルとユーモアに満ちた絵本です。(低学年以上向き、1400円+税)



『もし地球に植物がなかったら?』
(きねふちなつみ・作、あすなろ書房)

46億年前に生まれた地球に、初めての生命が誕生したのは、40億年前のことでした。海の中で長い時間をかけて成長した生命が、ようやく4億4千万年ぐらいまえに、コケの形で地上に現れます。さらに様々な植物として進化し、動物の進化を促したのです。この悠久の歩みが、屏風絵を思わせるような広がりを感じさせる絵で表現されています。カバーの折り返しに「壮大な生命のリレーが、この1冊に!」とありますが、この絵本自体が年齢を越えて読み継がれてほしい一冊でした。(中学年から、1500円+税)



低・中学年向け

『ハンカチともだち』
(ながわちひろ・作、アリス館)

はるちゃんが朝学校に行く時に、あわてて引き出しから持ち出したハンカチ。見覚えのないそのハンカチには、ベッドで寝ている小人が描かれ、その小人が寝返りをうったように見えたのです。学校に行っても、ハンカチのことが気になってたまりません。時々ポケットから出して見てみると、小人は確かに動いています。ところが給食の時に牛乳が飛び散っても、ハンカチを使いたくないはるちゃんに、みんなの視線が注がれます。さて、そのはるちゃんと、誰がどんなふうに「ハンカチともだち」になったのか。ストーリーとしては、ちょっと外れてる子の発見物語ということになるのですが、文と絵の独特のコラボの世界が、そうしたテーマ性をふんわりと包んで、読者に届けられています。(低・中学年向き、1400円+税)



高学年・中学生向け

『きつねの橋』
(久保田香里・作、佐竹美保・絵、偕成社)

舞台は、武士が勃興しつつある平安時代の京都。主人公の平貞道は元服をすませたばかりの若武者ですが、家の期待を担って京に上り、源頼光の郎党となります。雑用ばかりの日々でしたが、都の入口辺りの橋に、きれいな女に化けたきつねが現れ、わるさをすると噂を聞き、力を見せる機会だとその橋に出かけます。一度は失敗した貞道でしたが、二度目に見事生け捕りにします。しかし、このきつねを逃がしてやったことで、貞道の運は開けていきます。頼光を始め、大盗賊の袴垂、少年時代の藤原道長など豪華な顔ぶれも楽しめますが、時代小説と



『まじよのむすめワンナ・ビー』
(竹下文字子・作、種村有希子・絵、偕成社)

魔法使いの父さんと魔法の母さんとの間に生まれたワンナ・ビー。幼い時から母さんのほうきに乗ったり、草花の知識を教わったりします。ところが、魔法の学校に入ったワンナ・ビーは、なぜか魔法の勉強が苦手だったのです。とうとう先生に見放され、普通の人間の学校に転校することに。ここでも一人であることの多いワンナ・ビーでしたが、キャンプの夜に活躍の機会が訪れます。誰もが持っているかもしれない魔法の力。ワンナ・ビーに共感する子どもたちは多いに違いない。(低・中学年向き、1300円+税)



『やまねこのこんには』
(はせがわさとみ・作、あかね書房)

森の奥の小さな家に引っ越してきたやまねこ。ご近所さんにあいさつに行こうと、はりきって出かけます。そこで森にすむ動物たちが、「あの家に越してきたのは、どんな子だろうね」とうわさしているのを耳にします。「おしゃれな子ならいいな」という言葉を聞いて、あわてて家に帰っていい服に着替えるやまねこ。そんなパターンが繰り返され、あいさつの支度はどんどんハードルが上がっていきます。ユーモラスな展開の中に、友だちを求めるやまねこの心情が、無理なく伝わってきます。(低・中学年向き、1200円+税)



歴史ファンタジー双方のテイストを味わえる作品に仕上がっています。(高学年以上向き、1400円+税)

『今、空に翼広げて』
(山本悦子・作、講談社)

双葉町3班の通学班。6年の里奈とブラジル人パウロが班長・副班長。あとは5年生の真紀、4年の圭太、2年のティアラ(純日本人)、1年の翼という顔ぶれです。10章から成り、語り手は交替しますが、真紀が語る章が、最初と最後を含め5章。つまり、真紀視点の物語の中に、他の子たちの「証言」が挟み込まれる構成になっています。真紀の目の前を歩く翼は落ち着きがなく、翼の世話を焼くのが、いつのまにか真紀の役割になって



います。翼の母親は姉かと思えるほど若く、大おばあちゃんとの三人暮らしです。台風で集団下校になった日、翼の家が留守で真紀が自分の家に連れてきたことをきっかけに、翼の家の事情や、そのことを真紀の母親がどんなふうに見ていたかが、次第にあぶりだされていきます。これと並行して、真紀と同じマンションに住む圭太の家の事情、両親が再婚同士で、父親の連れ子である高校生のお兄ちゃんが一人暮らしを始めた背景なども徐々に明かされていきます。それぞれに懸命に生きながらも、どこかで思いがすれ違ったり、誤解が生まれたりする、6人のメンバー、あるいはそれぞれの家族、そして家族同士、さらには6人がいるクラスの中での人間関係。語り手の交替で視点が重なっていただけでなく、作品世界の枠組みが立体的というか、縦横に重ねられて、不思議な感動が呼び覚まされます。(高学年・中学生以上向き、1500円+税)

ベルマーク寄贈者・友愛援助リスト(敬称略)

〈震災寄贈〉10月21日～11月20日

▼北海道 石屋商事(株) 琴似中学校 藤田真弓 前川真理子▼秋田県 (株)東林業▼山形県 伊藤美智 匿名希望▼福島県 岩本修 豊盛工業(株)新白河工場 渡辺▼茨城県 榎本瞬 岡田こず恵 鹿窪佐枝子 鈴木奈緒▼埼玉県 田原純子 匿名希望 所淑子 中川郁子▼千葉県 阿部真也 天野和子 伊藤富貴子 海老原信枝 木村文子 関口 関田元子 谷口光枝 中田恵美子 前川愛子 山口 梶子▼東京都 J&J愛をささやく アンジェラ 大井三恵子 加川隆彦 (株)JPエンタープライズ (株)メンテックカンザイ東京支店 (株)モスフードサービス 鎌田小学校 古賀一代 米谷彩杜 坂本宏美 内藤真澄 日本基督教団小金井緑町教会 パナソニックシステムソリューションズジャパン(株) J-MOT▼神奈川県 青島正子 大野美奈子 加藤美和 (株)ハウスクリニック横浜中央センター (株)半導体エネルギー研究所 川村亜紀子 田鎖恵子 田中宏 谷城文康 匿名希望 広田ゆか 牧田知与▼富山県 中川幸恵 晴被聡美▼岐阜県 井貝未奈 岐阜県JAビジネスサポート(株)▼静岡県 梅原万奈 静岡県立横須賀高等学校 地域交流活動部員一同 白井充代 鈴木利枝子 土佐由利 島中将也 広伸配送(株)▼愛知県 岡崎城西高校英語部 中林紀子 細江恵子▼三重県 溝井勇人▼大阪府 天津恵美 内田靖子 (株)NTTドコモ関西支社(株)ドコモCS関西 野池桂▼兵庫県 コープEARTHくらぶ北鈴ラッキーンズ 生活協同組合コープこうべ第一地区活動本部 塚口事務所 たつひめじ金澤体操教室参加者一同 日本ハム食品(株)関西プラント 福松建設(株) 藤原邦造 山崎達也▼奈良県 匿名希望▼和歌山県 谷祐輝▼広島県 多山賢二▼徳島県 沖住代子▼香川県 吉田良造▼福岡県 松田優子 守恒中学校 PTA▼熊本県 (株)豊岡建設 村上久美▼大分県 嶋崎光平▼タイガーマスク 山本 湯浅▼無記名=27件

〈一般寄贈〉10月21日～11月20日

▼北海道 館岡隆・直人 美唄消費者協会▼岩手県 協同組合リッチヒル遠野 高橋清子▼宮城県 ケアハウスフェリコ館▼秋田県 阿部幸子▼山形県 相原徳子▼茨城県 大羽香織 鯉沼秀明▼群馬県 トウショウレックス(株)▼埼玉県 市之瀬玲子 折原理恵子 田口飛翔 田島淑江・市川和代・瓜田和美 匿名希望 宮迫▼千葉県 新井敦子 今うた子 鈴木利和 高村幸太郎連翹運営委員会▼東京都 TOKYOFM「LOVECONNECTION」石塚清香 市川佳世子 (株)学研プロダクツサポート 久保田隆 久保田智子 クラーク記念国際高等学校 近藤弓子 塩野公認会計士事務所 寺田真人 中野セントラルパーク 中村栄子 仁井田和美 日本生命保険相互会社人材開発部エリア総合職養成センター 練馬カウンセリングルーム 畠山信也 平野美穂 福原由紀子 武蔵野ばあば 紫芳会 矢島文子▼神奈川県 ASA二俣川 赤石秀己 石黒琢一郎 加藤祥子 近藤千瑞 原田

征一郎 富士ソフト企画(株)横浜オフィス 吉田文子 和田俊子▼新潟県 井越幸子 田辺美香 地域密着型複合施設わしま▼富山県 匿名希望▼石川県 島崎裕▼山梨県 山崎直美▼長野県 伊東なつ江▼岐阜県 匿名希望▼静岡県 アイスター商事代理店杉山美千子▼愛知県 金原範幸 齋藤丸枝 曾我部國久 匿名希望 はあと 薬局 プリヂストン化成(株)名古屋事業所▼三重県 アイスター商事代理店川口節子 池部ミヤ子 岡田夏海 後藤朝子 豊田登志美 中野恵子 藤田拓也▼滋賀県 小林雷希 古川久美子▼京都府 大桐美知緒 小田哲司 匿名希望▼大阪府 大西祐子 (株)ポプラコーポレーション シュールメゾンポプラ北豊島 原田武明 星香穂 匿名希望▼兵庫県 中川あけみ 福田昌代 和住良昭 匿名希望▼奈良県 小山幸代▼鳥取県 谷口和枝 永原千恵▼岡山県 アイスター商事代理店河原美恵子▼広島県 清水千恵子 匿名希望▼愛媛県 大和ハウス工業(株)愛媛支店▼福岡県 池田嘉子 坂本みどり 野田茂子 日立化成オートモーティブプロダクツ(株)▼長崎県 尾山美樹▼熊本県 岩本真生 大野光子▼大分県 石堂泰史 井上義雄▼宮崎県 石橋薫▼原付▼無記名=28件

〈友愛援助申し込み〉11月1日～11月30日

▼北海道 東光小(留萌市)▼青森県 東平内中(平内町)▼埼玉県 青木北小(川口市)▼千葉県 上本郷小(松戸市)▼東京都 明正小(世田谷区) 綾瀬小(足立区) 鹿本中(江戸川区) 第四小(東大和市)▼神奈川県 山崎小(鎌倉市) 城南中(小田原市)▼新潟県 村上南小(村上市)▼静岡県 岡崎小(湖西市)▼愛知県 豊山学園天使幼稚園(豊山町)▼大阪府 清水幼稚園(高槻市)▼兵庫県 段上保育所(西宮市)▼山口県 新川保育園(宇部市)▼大分県 県立別府支援学校石垣原校(別府市)▼鹿児島県 中種子中(中種子町)

〈友愛援助申し込み・台風大雨被害分〉

11月1日～11月30日
▼北海道 聖ミカエル幼稚園(札幌市東区)▼茨城県 小絹中(つくばみらい市)▼群馬県 津久田小(渋川市)▼埼玉県 松伏小(松伏町)▼東京都 桜道中(葛飾区) 第四小(東大和市)▼神奈川県 山崎小(鎌倉市)▼長野県 塩田中(上田市)▼静岡県 御前崎小(御前崎市)▼兵庫県 安室東小(姫路市)▼愛媛県 金子小(新居浜市)▼高知県 香我美中(香南市)▼沖縄県 小緑小(那覇市) 金城中(那覇市)

寄付して下さった方々

ペーカール&マッケンジー・マネージメント・サービス(株) 関西学院大学うまいもん甘酒プロジェクト! ボランティアチームくまモンズ